



風力発電等に係る環境アセスメント基礎情報整備モデル事業 (経済産業省連携事業)

平成28年度要求額
888百万円 (1,173百万円)

背景・目的

- 風力発電等の早期導入に資することを旨とし、環境影響評価に活用できる環境基礎情報（貴重な動植物の生息・生育状況等の情報）のデータベース化及びその提供を通じて、質が高く効率的な環境影響評価の実施を促進する。

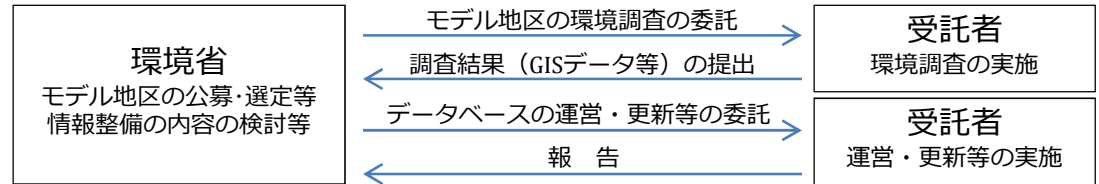
期待される効果

- 風力発電等により影響を受けやすい場所を予め明らかにすることによる環境影響の回避・低減。
- 事業者が情報を活用することによる質の高い環境影響評価の効率的な実施（＝環境調査期間の短縮化）が可能。
⇒ 風力発電等の早期大規模導入に資する。

事業概要

- (1) 情報整備モデル地区の環境基礎情報の調査
- (2) 環境アセスメント環境基礎情報データベースの整備・更新等
※平成28年度は、洋上風力関係の情報の充実・更新、これまでの結果のとりまとめ及び情報の活用促進を図る。

事業スキーム



イメージ

モデル地区の環境基礎情報の調査

- モデル地区の選定（環境省、地方自治体）
陸上風力 / 洋上風力 / 地熱
- 文献調査、現地調査、ヒアリング調査
 - ・渡り鳥の飛来ルート
 - ・猛禽類の営巣状況
 - ・動植物の生息・生育状況等

全国の地域既存環境情報の収集

- 土地利用規制等の情報
- 動植物の分布情報
- 国内外の技術情報



環境アセスメント 環境基礎情報 データベース

- ・ データベースとして整備・提供
- ・ 地図情報はWEB-GISで閲覧可能

閲覧・情報の活用

風力発電等事業者

- ・ 初期の立地調査や現況調査の省略・効率化
- ・ 事業の円滑化（期間短縮と環境調査費用の低減効果、環境問題化するリスクを軽減）

住民、地方自治体

- ・ 情報を閲覧し、風力発電事業等の環境影響評価手続に関与することで、情報交流が拡大